

内谷市長の

ゆるやか「ラム

「居心地が良く

歩いて楽しめるまち」



文教の杜ながいは、江戸時代から続いてきた商屋の店屋敷である旧丸大扇屋の建物群、彫刻家長沼孝三の作品を展示する長沼孝三彫塑館、1878年に建てられた旧西置賜郡役所（通称「小桜館」）の3施設からなるエリアです。年間を通じ、芸術や歴史に関する展示やワークショップを開催しており、市の特色ある歴史や芸術文化を感じられる空間です。

この文教の杜ながい周辺を、今年度から、居心地が良く歩いて楽しめるエリアとして整備する予定です。今年度は、旧丸大扇屋（店蔵・もみ蔵）と小桜館の改修に向けた設計を行う予定です。ミュージアムショップ、ワークショップスペース、インフォメーションセンターなど、文化体験や地域の文化・観光情報の提供の場としていく予定です。

周辺地域については今後、石畳の道路舗装や石積みの水路を整備するなど、国の重要文化的景観に選定された「最上川流域における長井の町場景観」を感じられるようなまちなみにできればと考えています。地域の皆様に協力い

ただき、空き店舗や空き家を活用したミニ美術館やカフェ、おみやげ店などの整備も検討しています。ミニ美術館では市に寄贈いただいた美術品や、障がいのある方々の作品の展示などを行いたいと考えています。

これから、長井のまちなみをもっと充実させ、より暮らしやすく、こどもからお年寄りまで楽しめるまちを創っていくため、様々な事業を進めてまいります。

さて、10月5日は、「長井ミンナガフェス」「長井1000人芋煮会」「もとまち青空フェスティバル」が開催されます。様々な催しや飲食など、皆様で楽しんでいただきたいと思います。19日には「長井マラソン2025」が開催されます。今年度からリニューアルし、フルマラソン・ハーフマラソンに加え、小中学生や親子で参加できる種目を追加しました。出場される方はもちろん、出場されない方も沿道から応援いただき楽しんでいただければと思います。

芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋など、様々な秋をお楽しみください。